

川村 緑（1933 年 7 月 13 日生）職歴

1958 年 京都大学大学院合格と同時に京都大学木材研究所（現木質科学研究所）に研究員として入所、（大学院入学を辞退）構造用（建築用）木材接着材（Gap filling property adhesive）、無機木材の建材（石膏ボード等）等の研究開発（この技術が凝集剤の開発の基になる）。

1960 年 学園紛争により主任教授退官のため、地方国立大学講師の推薦を断り、民間企業会社に入社。開発した新商品がヒットし三菱商事が総代理店となり、新製品工場建設と同時に工場長を兼任。

1966 年 大阪府立産業総合技術研究所に世界初の接着研究センター設立のため大阪府技師として入所（化学部有機化学部に在籍）
大学生、大学院生の卒業論文の実験指導、民間企業の技術指導、大手企業（松下、カネボウ、ミサワホーム、三菱電機、シキボウ、中央理化等）と共同研究、新製品を開発。

1972 年 上記の経歴が評価され、EC（現EU）の文化センターの招聘によりEU本部（ベルギー、ブラッセル）に在住。ルーバン大学大学院工学部化学科（ドリスラガー主任教授に師事）に在籍、EC職員としてヨーロッパ全域、旧ソ連全域の学者、技術者と交流。工業技術コンサルタント業の勉学。

1973 年 大阪府立産業総合技術研究所に復職。

1974 年 工業技術コンサルタントグループ（現川村科学技術研究所）を設立、今日に至る。

国内

㈱拓実技研代表取締役、㈱ボナンザ取締役会長、㈱ワールド・グリーンテック取締役会長、医療法人全伸会理事、その他 シキボウ、三菱電機、ジャパンエナジー、日本光ファイバー、ミサワホーム、第一電工、NTC、日本エコカーボン等の技術顧問を歴任、新商品開発、技術者の活性化教育。共同出願特許件数 120 以上。

海外

英国カンブリア州 名誉経済開発アドバイザー

CUMBRIA INTERNATIONAL ENTERPRISE INSTITUTE 教授

英国最大の弁護士集団 ROW&MAW の Special Adviser を歴任

中国瀋陽環境局環境最高技術顧問